

YAH YAH YAH！教育実習生がやって来る

今年度も教育実習生を迎え入れる季節となりました。生徒にとっては、自分たちと年齢が近い教育実習生の登場は、とても嬉しいものです。

言うまでもなく、日本で教師になるためには教員免許が必要で、教員免許の取得には実際の教育現場での教育実習が必須です。

現場の学校は、毎年何人もの教育実習生を受け入れています。新津第二中学校も然りです。

教員の卵といっても個々の事情は様々です。本当に生涯の仕事として教員を志している者もいれば、教員になるつもりはないがとりあえず単位だけは、という人もいます。実習に取り組むモチベーションにも自ずと違いが出て、時には、実習態度やマナーが悪い学生にあきれることもあります。受け入れ側としては、どんなに慌ただしい時期であれ、実習生一人に指導教官一人を割り当てるなど、受け入れ体制を整えて指導にあたっているわけですから、将来教師になる、ならないにかかわらず、実習には一社会人として真剣に取り組んでほしいというのが率直な願いであり、不心得者には実習に来てほしくないというのが偽ざる気持ちです。

逆に、真摯に実習に励む学生やそういった若者の感覚や価値観には、新たな感動や驚きを感じることも多く、時には、自分自身の教師としての初心を振り返らせてくれることもあります。

さて、将来、教員志望の教育実習生に、私が必ず最初に尋ねることがあります。

どうして教師になりたいのか、10字以内で教えてください。

〇〇年前に教育実習を経験した先生方は、その時このように問いかけに何と答えたでしょうか？10字以内というところがミソです。本当に教師になりたいと望み、それ相当の資質と能力を有する人ならば必ず答えられるはずだと思っています。実際、この学生は教員に向いていると感じる実習生のほとんどからは、こちらが期待する答が返ってきます。逆に教員志望なのに、しばらく考えても答にいっこうに近づけない学生には、やや不安を覚えます。

新津第二中学校の先生方の日々の指導ぶりを見ていると、私が期待する答が即座に返ってくる先生ばかりだと確信できますし、そういった先生方とこの新津第二中学校でともに働けることを、心の底から喜んでいきます。

＜私が期待する答＞ は

子どもが好きだから (10字) または
人間が好きだから (9字) です。

なぜ教師を志したのか？ どうして、あまたある職業の中から、一生の生業として教師の道を選んだのか？

そして私はこう思うのです・・・・・・・・・・・・・・・・

どんなにIT社会が加速しようが、ロボットやAIでもできることが増え続ける世の中になろうが、私たちが向き合うべきは、パソコンや機械ではなく、生身の子どもたちや保護者、同僚です。

時代や世の中が急激に変わろうと、予測不可能な事態が生じようと、特に子どもの成長に向けて、ロボットにはできないこと、AIがとって替わることができない領域が必ず存在する。

ロボットやAIではなし得ない、自分という存在のみにしかできない関わり方を見つけ、しっかりと自分以外の人間と向き合い、誠心誠意・丁寧に対応するのがプロの教師ではないだろうか。

そのプロ意識を支える土台こそが、「子どもが好き」「人間が好き」という、教師としての原点です。

そういえば、ひと昔前までは、昼休みは毎日グラウンドで子どもたちとサッカーして遊んだなあ、半日勤務の午後には同僚の先生とバドミントン大会やって盛り上がったなあ、雪の季節の金曜日には、何人かの先生でスキーのナイターに学校から直行したなあ、なんてことを、学校でパソコンにばかり向き合っていると、時折、ふとそういう思いがふつふつと沸き上がります。

決して郷愁に浸っているわけではありません。今や教育現場はブラックだと言われ、教師の成り手不足の時代だとも囁かれています。だからと言って、だれでもいいというわけにはいきません。

何てったって、我々教師の生き方、生き様には、大事な子どもたちの未来がかかっているわけですから。